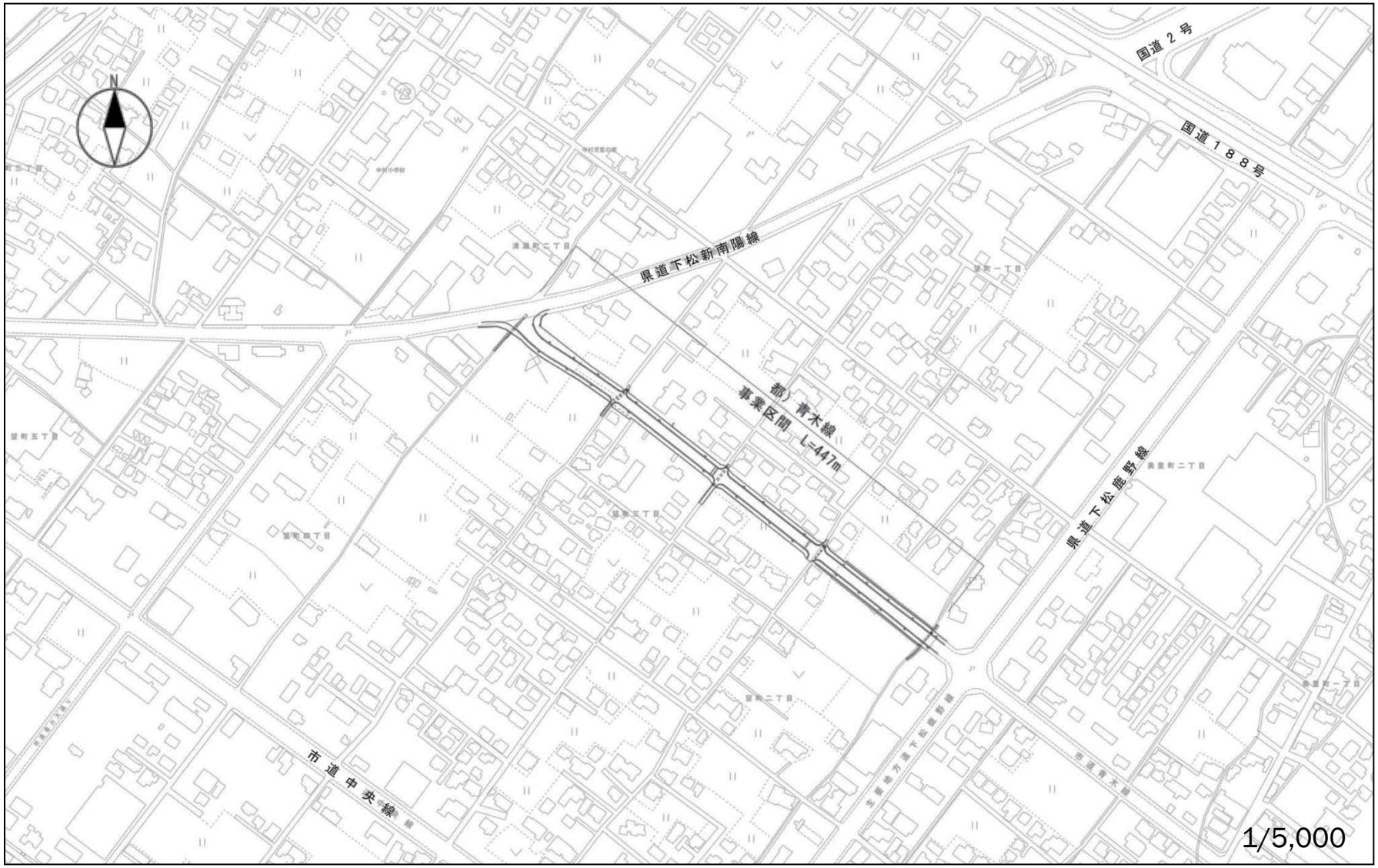
第29回　全国街路事業コンクール応募資料

様式1

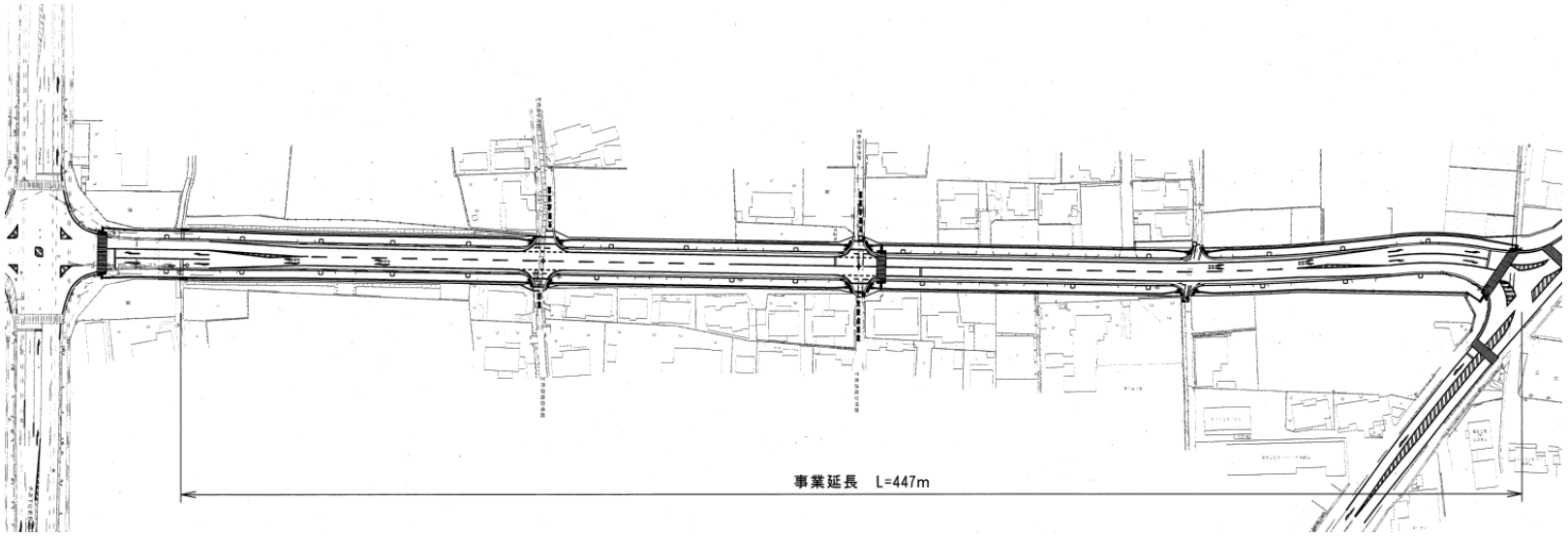
ふりがな		やまぐちけんくだまつしけんせつぶとしせいびか
応募者名		山口県下松市建設部都市整備課
街路事業	ふりがな	としけいかくどうろあおきせんじぎょう
	事業の名称	都市計画道路青木線事業
	ふりがな	やまぐちけんくだまつしけんせつぶとしせいびか
	事業主体	山口県下松市建設部都市整備課
	ふりがな	やまぐちけんくだまつし
	実施都市名	山口県下松市
事業概要 （400字以内）		本事業は、起点大字西豊井字殿ヶ浴の県道下松田布施線から終点清瀬町三丁目の市道川端通りまでを全体計画としている都市計画道路青木線2,850mのうち、県道下松鹿野線から県道下松新南陽線までの区間483mを整備したものである。 道路規格は第4種3級、設計速度40km/h、幅員構成は車道幅員3mの2車線、停車帯1.5m、歩道3.5mを両側に配置した16mで、歩道はバリアフリーに配慮した段差の少ないセミフラット方式を採用し、併せて視覚障がい者誘導用ブロックを敷設している。 また、良好な生活環境の確保を図るため、沿道に街路樹を配置し、道路用地内に上下水道並びに都市ガスを埋設した。
事業規模		○事業延長：483m（事業認可：447m） ○事業費：約11億4000万円 ○幅員：16.0m（2車線・両歩道） ○事業期間：平成19年10月～平成27年12月
事業の目的		都市計画道路青木線は、県道下松田布施線を起点に、県道下松鹿野線、県道下松新南陽線と交差し、下松市内を東西方向に貫く幹線道路である。近年の県道下松鹿野線開通に伴い、その沿線に商業施設が多く立地し、交通量が増加したことで、市街地を東西方向に貫く幹線が不足し、交通混雑が生じていたことから、交通の円滑化を図るため、県道下松鹿野線から県道下松新南陽線までの区間を整備したものである。
事業効果	事業効果項目	・様式2のとおり（該当項目にﾁｪｯｸを付す）
	事業効果の概要	本事業により、周辺道路の交通混雑が解消され、近隣小中学校の安全な通学路の確保、災害時の避難経路として都市防災機能の向上が図られた。 また、今回整備された区間の沿線にはマンションや大型店舗等が建築され、市街化の誘導を促し、地域経済の活性化に繋がった。
	定量的効果 （検証済の場合記入）	周辺道路の交通混雑解消（交通量調査にて検証） 市道和田橋線　供用前：1,314台／12h　供用後：881台／12h
地元対応等	・地域住民との協働等 ・事業反対等はあったか ・合意形成等を図ったか ・地域に配慮した点 ・その他	本事業地を横断していた既設水路は、以前から断面不足により近隣地へ浸水被害を生じており、地域住民から改善要望が多く挙がっていため、本事業にて新たな横断水路を設置し近隣への被害を抑制することで、住民の理解を得た。

事 業 位 置 図

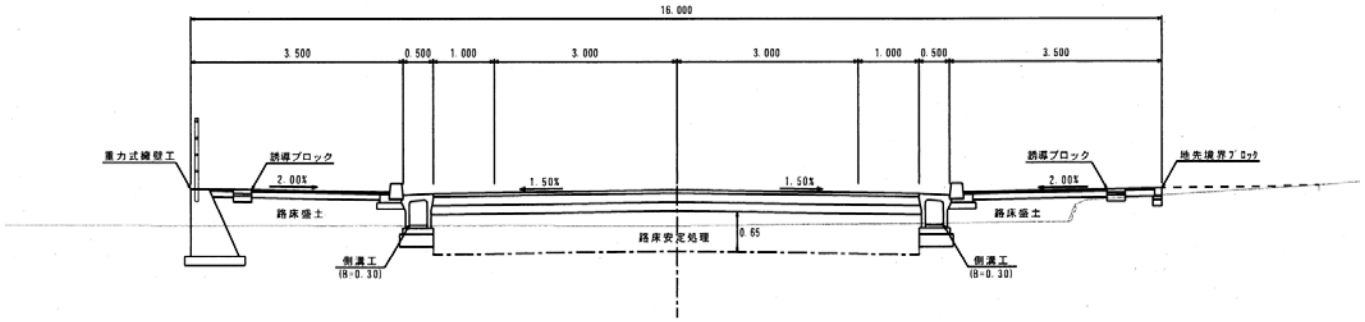


全体図（平面図・横断図・縦断図）

平面図



横断図



事　業　前　写　真

平成22年2月撮影

平成26年7月撮影

平成26年7月撮影

事　業　後　写　真

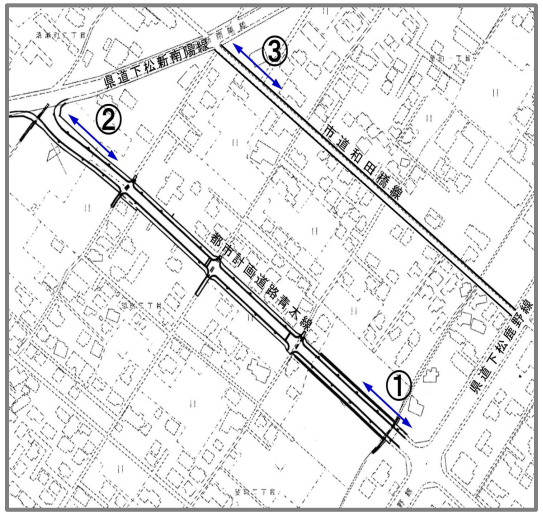
平成28年10月撮影

平成28年10月撮影

平成28年10月撮影

都市計画道路線青木線の整備効果アピール資料

「事業概要」
事 業 名:都市計画道路青木線
路 線 名:青木線
事業箇所:望町二丁目～望町四丁目
事業延長:L＝483m
幅　　員:W＝16m
総事業費:約11億4000万円
事業期間:H19～H27年度



「交通量調査結果（12h）」

①青木線（東側交差点）	②青木線（西側交差点）	③市道和田橋線
供用前　　－台	供用前　　－台	供用前　実測　1，314台
供用後　実測　2，536台	供用後　実測　2，655台	供用後　実測　　881台

【周辺学校の通学の様子】

≪供用前（市道和田橋線）≫

≪供用後（青木線）≫

「整備効果」
〇周辺道路交通量の減少
　主要道路へのアクセスのため、市道和田橋線等周辺の狭隘な道路に車両が流入していたが、本事業により交通量が分散し、混雑が緩和された。
〇安全な通学路の確保
　事業前は歩車分離されていない危険な通学路を利用していたため、今回の整備により安全安心な通学路を確保することができた。
　また、交通量が分散されたことで、周辺の狭隘な通学路についても危険を緩和することができた。
「その他の事業効果」
　準工業地域及び住居系地域にて形成される当該地域は、道路整備に併せて沿線にマンションや大型店舗が建築され、本市の活性化に繋がった。

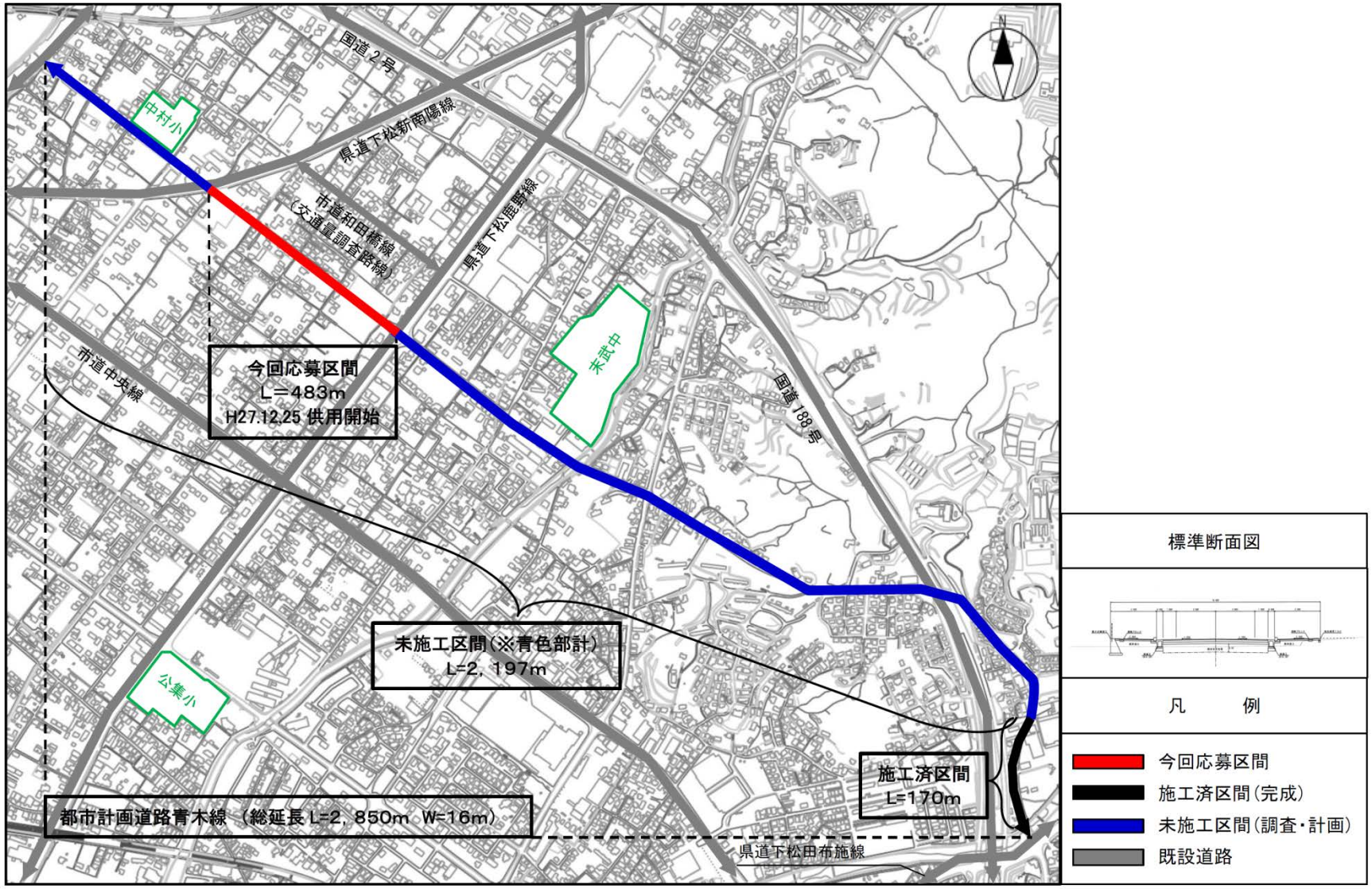
事　業　効　果　一　覧　表

大項目	中項目	小項目	指　　標	該当項目
事業の効果	円滑な交通	物流を支える	・整備水準の低い地域の改善に寄与した。 ・道路ネットワークの形成に寄与した。	
		渋滞のない交通環境を実現	・交通渋滞の緩和・解消に寄与した。	◎
		公共交通の利便性向上	・バス、鉄道の利便性向上に寄与した。	
	安心・安全な生活	安全な道路交通の実現	・交通事故の防止に寄与した。	
		誰もが通りやすい歩行空間の実現	・歩行者・自転車の安全な通行空間の確保に寄与した。	○
		災害に強い安全な市街地、集落の形成	・災害時における安全性の向上と円滑な避難・救援に寄与した。	
	まちづくり・地域活性化	都市（地域）連携を進める	・中心都市へのアクセス向上やまちづくりに寄与した。	
		都心の活力を高める	・中心市街地の活性化に寄与した。	
		地域経済の振興を支援する	・都市（地域）の経済活動の拡大に寄与した。	△
	アメニティの向上	沿道環境の改善	・沿道環境の改善や充実に寄与した。	
		うるおいのある道路空間の創出	・周辺の景観に配慮し、良好な道路空間等の創出に寄与した。	
		歴史・文化の保全	・歴史･文化の保全に配慮し、歴史的景観等の創出に寄与した。	
	事業実施に伴う効果	コスト縮減等	・工費節減に工夫を凝らし、実績を上げた。 ・事業期間の短縮や環境対策などの社会的コスト縮減を図った。	
		事業期間等	・当初の事業期間を短縮し、前倒しで供用開始した。 ・短い事業期間で大きな事業効果を発揮した。	

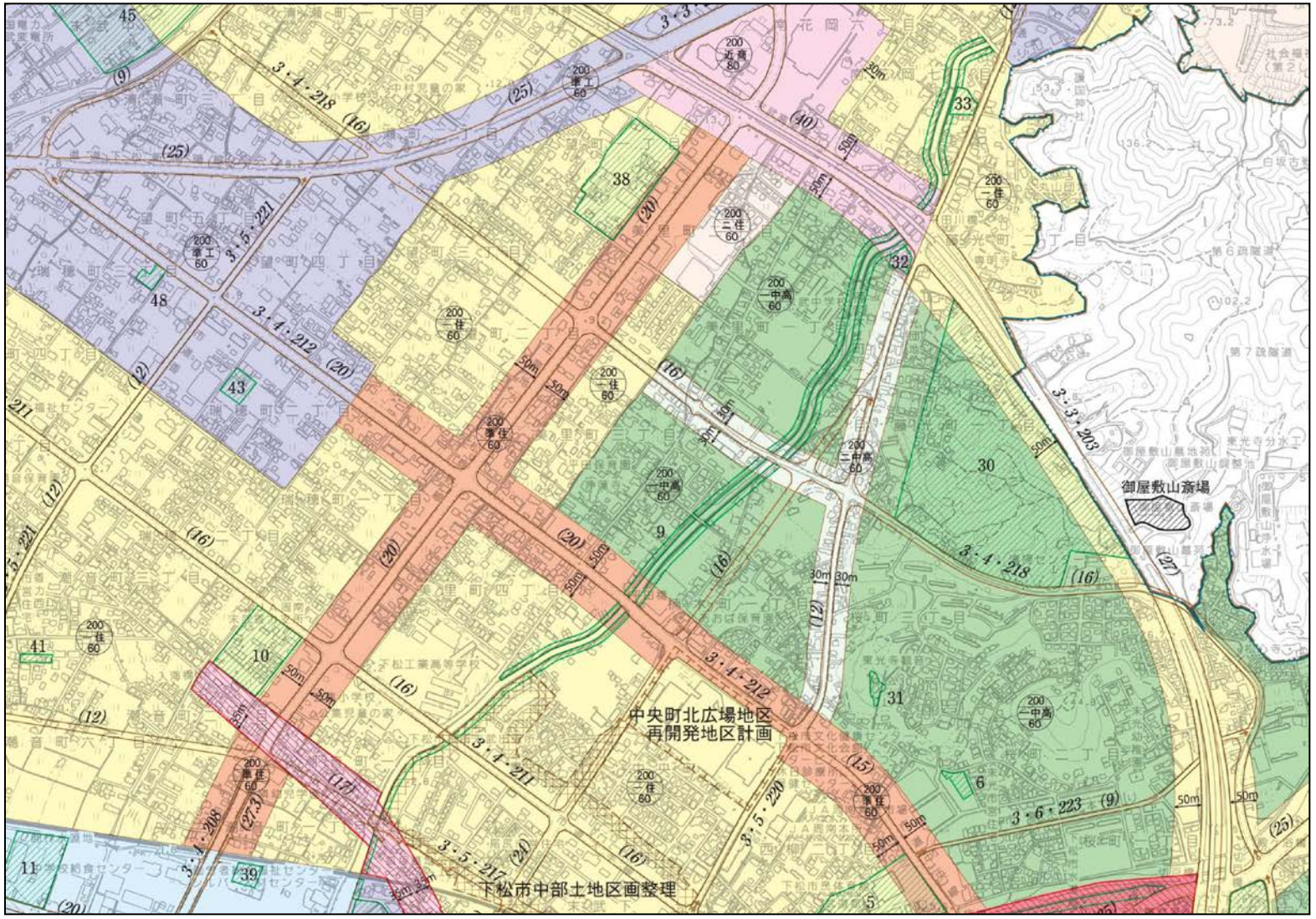
※当該事業において、最も事業効果が現れたものから重み付けをしてください。
　◎効果大　○効果中　△効果小

路線全体の進捗状況

都市計画道路青木線



都市計画図


中央町北広場地区
再開発地区計画
下松市中部土地区画整理
御屋敷山斎場
3・4・218
3・4・212
3・4・211
3・5・220
3・6・223
3・3・203
3・5・217
3・4・208
3・5・221